

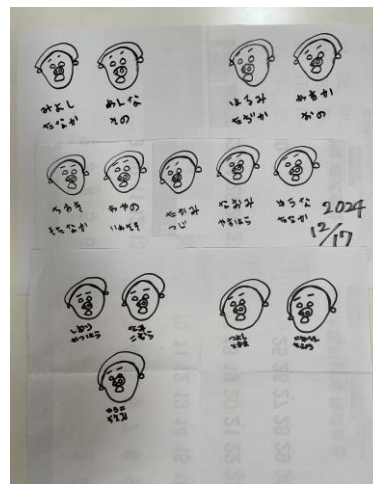
障害のある人のアートギャラリーin生涯学習センター

1.コトノハのサラダボウル（合同作品）



○画用紙ちぎり、貼り絵、絵の具など、様々な手法で各々の利用者の方にはできることをしていただき、組み合わせた作品です。

2.コトノハ職員似顔絵巻（亀山禎昭）



○職員の名前入り顔写真を見ながら、1人1人真剣に描いた作品です。一見同じようですが細かい違いがあり、調子の良い日に数人ずつ描き、数か月かけて完成させています。

3.タネ（中村有作）



○去年も同じ作風でカラフルな数個の渦巻きをいくつも描いてくださっています。

今回は5日間にまたいで作品の制作を行いましたが、毎日2～3個ずつゆっくりと、どの日も緑と黒系の色だけを選んで描いています。うっすらと混じる黄色を芽、また緑や黒といった色から「タネ」と銘打たせていただきました。

4.ハッピーバレンタイン（村木美乃里）



○アートギャラリーに向け、色セロハンを貼る作業のできる方に何日もかけて作っていただきました。その日の気分によって貼り方が違い、1つ1つ独特の模様を楽しめる作品となっています。

5.おわり（井上貴裕）



○明確な意思の籠った奇怪な模様は、目や手足に見える部分が目立ち、生物的なものであることは明らか。本人に何を描いたか尋ねると「おわりだよ。おわりなんだ」と言われ、それ以上は口をつぐまれていました。

確かなものは端にかかれた「おわり」の文字。それが死を意味するのか、終末の日（ディエス・イレ）を意味するのか、作品を描き切ったという意味なのかは本人しか分かりません。

～施設紹介～

倉敷市で活動しています、社会福祉法人クムレ 多機能事業所コトノハです。

私たち多機能型事業所コトノハは、生活介護、放課後等デイサービス、の2事業を運営しています。地域で生活されている、障がい児者を含めた家族支援を多面的な視点で生活を支えるサービスを行い、利用者の夢・将来を一緒に考え、叶えていけるよう支援を行なっています！どんなに障がいが重くても、住み慣れた地域でその人らしく生活が営めるように、地域共生社会を目指しています。

今回は、生活介護サービスを利用されている方々の作品を紹介させていただきます。私たちは、活動時間や余暇時間に創作を取り入れています。紙を千切って貼ったり、線や丸を描いたりとできることを皆さんで取り組みながら、職員と一緒に協力して作品を創り上げています。

完成した作品は、ご家族にも観て頂く機会を設けています。様々な材料や技法を使っていく中で、できることや好きなことなど新たな発見があり、支援に還元したり、それぞれの個性を生かす貴重な時間になっています。

これからも、利用者の方々のできることや強みを見つけていける時間を創っていきたいと考えています。